

JA横浜では、農産物の普及や地域貢献活動、地産地消の推進などの目的でさまざまな料理教室を開催しています。しかし、乳幼児期のお子さんをもつお母さんは、料理しながら子どものお世話をすることは困難であり、なかなか料理教室に参加することができません。そこで、本学との連携により、保育付きの料理教室を企画し、JA横浜の主催により開催しています。今年度は5年目になります。今年度は横浜市内2か所、年間2回にわたり実施しました。

毎年実施する中で、①母子別々の活動であることでの丁寧なかかわりの必要性(母子分離のプロセスを工夫する技法の開発)②保育担当のチームワークの構築(方向性・内容性・関係性機能を意識したチーム保育)③安心・安全が実現する保育内容の工夫(衛生面・発達への配慮)などの課題が明確化しました。本学で30年間実施されている幼児グループ(児童臨床実習B)の理論・原理が生かされて、実施されています。

5年目の取り組みで見えてきたもの

子育て中のお母さんとその子どもを対象とした保育付き料理教室プロジェクト



参加者全員の満足を目指して

保育付き料理教室は、JA横浜の主催により、今年度は横浜市内2か所、年間2回実施する予定です。「JA横浜たすけ愛の会」のみなさんと本学学生、教員が保育を担当します。また、今年からJA横浜の産休・育休後の復職を支援する研修会において、研修に安心して参加できることを目的とした保育を行うことが決まっています。料理教室プロジェクトがきっかけとなり、取り組みがひろがりを見せています。



プロジェクト概要

- テーマ**
子育て中のお父さん、お母さんを対象とした料理教室での保育内容を企画、運営する。
- パートナー**
横浜農業協同組合(JA横浜)
- 担当教員**
田尻 さやか 助教
- 実施期間**
2013年5月～2018年3月